

沖縄の歴史を動かす
奇跡の共演

喜納昌吉 知名定男 照屋林賢

沖縄の民謡界を40年近くも引っ張り続け、
島うたブームを創り上げた先駆者3氏が
初めて同じ舞台に立つ。



LIVEコザ
2011

二線 SAMURAI

「島うた40年史」



12月1日(木) 沖縄市民小劇場あしびな〜

開場 19:00 / 開演 19:30 全席指定 5,000円 出演 知名定男 / 喜納昌吉 / 照屋林賢 司会 南こうせつ

9.19(月・祝) チケット一般発売開始!!

■ ローソンチケット [Lコード 82206] ■ チケットぴあ [Pコード 149-491]
■ ファミリーマート(イープラス) <http://eplus.jp/> ■ コープあぶれ

お問合せ / ピーエムエージェンシー 098-898-1331 (平日10:00~18:00)

www.pmnet.co.jp

喜納昌吉
知名定男
照屋林賢
南こうせつ

三線SAMURAI

「島うた40年史」

沖縄の歴史を動かす 奇跡の共演



喜納
昌吉

「ハイサイおじさん」1977年発表。
日本全国を圧巻した華々しいデビューで、
あの時代のベンチャーズとも野外コンサ
ートでジョイントしたが、トリはチャンブルズ
であった。1991年NHK紅白歌合戦出場
「花～すべての人の心に花を～」を唄う。



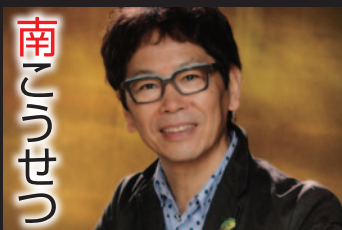
知名
定男

1974年 竹中労主催「琉球フェスティバル」
日比谷野音に出演。
1978年「バイバイ沖縄」を発表。復帰後の
急速に移り行く沖縄、愛して止まない沖縄に
「さようなら バイバイ」と唄った。
1990年ネーネーズをプロデュース結成。



照屋
林賢

1977年りんけんバンドを結成。
1987年発表「ありがとう」は新たな時代の
到来を感じさせメジャーデビュー。
1993年にはレコード大賞「特別賞」受賞。
以後も日本の代表する音楽として世界
各国にも紹介されている。



南
こうせつ

沖縄初上陸は、1974年11月 沖縄市営
体育館で吉田拓郎とかぐや姫でのコン
サートを行っている。すでに神田川が
大ヒット、ラジオ深夜放送リスナーの支持も
ありコンサートは超満員。沖縄海洋博覧会、
ベトナム戦勝終結前で、復帰後初の大規模
FOLK系コンサートであった。

6月23日BEGINうたの日に出演するために
石垣島に向かう途中の南こうせつさんが
那覇空港へ降り立った。目的は沖縄民謡
島うた界の第一人者 知名定男氏、喜納昌吉氏、
照屋林賢氏と会食を共にするためである。
沖縄の民謡界を40年近くも引っ張り続け、
島うたブームを創り上げた先駆者3氏とは
ジャンルは違えども、同じ時代を歩んで来た
無二の親友同士である。



公然の事実として語られているが、3氏は絶対に交わらない3星(ミーチブシ)とか言われ続け、
実は同じ舞台と一緒に踏んだ事が一度も無い。先駆者ゆえに尖って生きて来た三人の生き様が、
やや誤解を産み、勝手に話が広がり、噂話的な感じも無きにしても非ずのようであるが、
実際のところは本人達しか知らない事である。

今回は南こうせつさんの音頭で那覇の小路地裏、居酒屋の奥座敷に集まる事になった。
簡単に「集まる事になった」と書いたが、実はこれ、沖縄の芸能民謡界史上、歴史に記されるべく
大事件で、新たな事の始まりである。

会食はアルコールも入り多少のバトルはあったもの、終始和やかに進み、4氏共に還暦を過ぎ
丸みを帯びた人格を感じさせた。

非常に有意義な時を過ごすことが出来たが、お開きとなる前に誰となく年内で初LIVEをやろう
との話しになり、LIVE会場はやはり3氏が生まれ育ったコザの地が良い、出来れば小さい会場から
始めたいとの案も出て、さらに、沖縄の移り変わりを外から見て来た南こうせつさん、司会進行役は
自分がやるとも言ってくれた。

生まれた年代、音楽家としての活動の始まり、同じ時代背景を共にした偉大なライバル同士で
90年代島うたブームの火付け役。そして何よりも、愛する沖縄コザを背景に、沖縄民謡界の重鎮で
時代を創って来た男達(知名定繁、喜納昌永、照屋林助)を父系とする家庭音楽環境も似たものがある。

初舞台となる今回は、刀を三線に持ち替えた琉球侍。激動する時代を体感してきた現代の
コザ侍は人望があり、学問とうた三線ギターに長けた人物像をイメージ。
3名の出身地コザを表わし「三線SAMURAI」とローマ字表記しました。

復帰を境目に紹介された沖縄民謡島うたの40年..さらなる40年は。

初舞台LIVEコザ2011乞うご期待!!

